

親子歴史講座

「埴輪と勾玉をつくってみよう」

日 時 平成 26 年 7 月 26 日 (土)・8 月 2 日 (土) 2 日間
午前 10 時～正午
会 場 講堂

〔事業目的〕

夏休みに親子で歴史に親しむとともに、親子の対話の機会を提供する。

〔講座内容〕

第 1 回「埴輪をつくってみよう」 受講者数 16 組 41 名

内 容：講義「古墳時代ってどんなだろう」では、古墳時代の日本の様子を概観した上で、品川の古墳と人々の生活について学んだ。大井鹿島遺跡復元住居跡の見学や、品川区内古墳から出土した埴輪および埴輪複製を見ることで、古墳時代がどのような時代であったか想像してもらった。埴輪作りでは、まず紐状にした粘土で輪を作り、輪を積み上げていきながら形を整えていった。各々オリジナリティに富んだ埴輪を作った。

講 師：荻島 聖美（品川歴史館学芸員）

第 2 回「勾玉をつくってみよう」 受講者数 16 組 37 名

内 容：講義「勾玉ってなあに」では、池田山北遺跡から出土した勾玉の実物をはじめ、様々な形の勾玉を観察するとともに、勾玉の役割について学んだ。勾玉を作る作業では、滑石に勾玉の形を書き、サンドペーパーで削った。形ができたなら耐水ペーパーで磨き、紐を通して完成させた。

講 師：荻島 聖美（品川歴史館学芸員）

